

# 2000年1月1日から2019年3月31日に当院で手術を受け、子宮頸部上皮内腺癌 あるいは子宮頸部腺癌ⅠA期と診断された方へ

## 研究実施のお知らせ

研究の題名：子宮頸部初期腺癌における診断精度向上に関する研究

研究期間：医学部附属病院長の許可日～2021年12月31日

研究責任者：山梨大学医学部産婦人科学講座 講師 大森 真紀子

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

### 【研究の目的と意義について】

子宮頸癌が若い女性に増加しており、とくに浸潤腺癌が増加しています。この原因として初期の腺癌の診断が難しいことがあげられています。今回の研究は、当院で子宮頸部上皮内腺癌あるいは子宮頸部腺癌ⅠAと診断された方の臨床データ、検査データと、さらに細胞診検体、病理組織検体を再鏡検して、初期の頸部腺癌をより確実に診断できる方法を明らかにすることを目的としています。本研究により、子宮頸部腺癌を早期に診断できる方法を提案できます。

### 【研究の方法について】

手術により子宮頸部上皮内腺癌あるいは子宮頸部腺癌ⅠAと診断された方の細胞所見、病理組織所見を再度詳細に検討し、臨床所見、検査データ、画像所見と総合して検討します。

### 【利用する情報について】

〈対象となる患者さん〉

2000年1月1日から2019年3月31日の間に当院で手術を受け、子宮上皮内腺癌あるいは子宮頸部腺癌ⅠA期と診断された方です。

〈利用する情報・項目〉

情報：診療録情報、画像所見、細胞診の所見、病理組織診の所見

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録と診断済みの検体より取り出しますので、改めて患者さんに行っていただくことはありません。

### 【情報を利用する者の範囲について】

この研究において取得する情報の利用者は、本学医学部産婦人科学講座および附属病院病理部の研究者のみです。

### 【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護

し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

### 【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又はFAXにてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又はFAXにてご連絡ください。

### 〈お問い合わせ等の連絡先〉

山梨大学医学部産婦人科学講座

助教 大森 真紀子

メールアドレス：msasaki@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-8719